

表 各フェーズにおける地域の概況と保健ニーズ

フェーズ	時期	地域の概況	保健ニーズ
フェーズ0 初動体制の確立	概ね災害発生後 24時間以内	人的被害・建物倒壊・水道や交通等のインフラの不全	・生活環境の悪化 ・深部静脈血栓症(DVT) ・避難所の設置・運営 ・サービスの低下(水・従事者)
フェーズ1 緊急対策－生命・安全の確保－	概ね災害発生後 72時間以内	余震・被害の全容把握・避難者の増加・生活用品の不足	・感染症の流行 ・熱中症 ・歯科・口腔衛生 ・メンタルヘルス ・サービスの低下 ・保健医療活動チームの受援
フェーズ2 応急対策－生活の安定－	避難所対策が中心の時期	避難所の利用者・退出者の増減・ニーズの顕在化	・食生活・栄養の偏り ・生活不活発病 ・慢性疾患の治療継続 ・保健医療活動チームの配置
フェーズ3 応急対策－生活の安定－	避難所から概ね仮設住宅入居までの期間	避難者の移動・コミュニティの崩壊・格差の顕在化	・メンタルヘルス ・孤立
フェーズ4 復旧・復興対策期－人生の再建・地域の再建－	仮設住宅対策や新しいコミュニティづくりが中心の時期	復興・復旧対策の実施	・コミュニティ再生 ・ソーシャルキャピタルの醸成
フェーズ5－1 復興支援期・前期－復興住宅に移行するまで－	コミュニティの再構築と地域との融合		
フェーズ5－2 復興支援期・後期－新たなまちづくり			

※「災害時の保健活動推進マニュアル」(全国保健師長会)から一部抜粋

